

町田市議会議員・納税者主権

吉田つとむ

良識ある保守主義を目指す

町田市議会
〒194-8520
東京都町田市
森野2-2-22
☎042-724-2171
保守連合会派室



保守連合会派所属議員

今年の全国交通安全運動

秋の全国交通安全運動に合わせて、期間中、市内各所で交通安全協会の交通監視・指導のテントが設置されました。町田市議会は、恒例で正副議長がその活動を激励する目的でそのテント周りの活動を行っています。期間中、殿村副議長と一緒に回りました。具体的には、町田市内 10 カ所の詰所テントを巡りました。堺地区 2 か所（このエリアは南大沢警察署の管内にあり、南大沢交通安全協会の範囲に入ります）、忠生地区、鶴川地区（2 か所）、町田地区（2 か所）、南地区（3 か所）に関しては、町田警察署・町田市交通安全協会の範囲になります。



町田警察署と町田市交通安全協会の行事においては、警察署長と交通安全協会会長が主催者となり挨拶し、市長、議長がその挨拶を行いました。町田市内の交通安全状況では、死亡事故が減少しておらず、児童が重大事故に巻きこまれる悲惨な例も起きており、交通安全の啓発と指導の役務が欠かせない思いがありました。私はあいさつにおいて、今後高齢者が事故を起こす可能性を根絶することの重要性を訴えました。

市街地農地の見学・研修

町田市議会の都市農業議員懇談会の視察研修会が開催されました。議長の私が代表挨拶などを行います、実質的には市議会の山下哲也議員が進行してくれました。

視察には農業委員会は吉川庄衛会長、町田市農業協同組合代表理事副組合長 木目田守氏が同行され、関係職員の同行と以下の研修説明に協力していただきました。

研修会では「改正生産緑地法について～町田市の現状について～」を土地利用調整課職員の方から伺いました。国の法律が変わり、地方自治体が下限の面積要件を設定する条例を制定することで生産緑地の制定が容易にすることができます。町田市にとってはそのことが直近の課題になっています。市街地の農地は、都市化が進むエリアの緑地としての存在価値も見なおされる時期にあります、また地産地消の典型でもあり、その野菜類の産直は住民から高い評価を受けています。

この研修においては、国の施策により生産緑地内における農産物直売所の設置、農家レストランなどの設置もより緩和されるなどの説明も受けました。



★ 政党無所属・市議会は保守連合 **市議会議長として活動中**

URL <http://j-expert.jp/> 動画 <http://jp.youtube.com/yoshidaben>



メール送信

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ（自宅）

町田市議会議員 **2期連続トップ当選**

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード
でブログ閲覧



インターン生募集中

研修レポート② 村上 真由

今回の議題は議員定数削減を求める請願について参考人を呼び、現在のままの定数で良いか検討するというものでした。現在、町田市議会は2名欠員となっていて、34名となっているそうです。そのことによる議会活動に支障があるのか検証をするということでしたが、実際に傍聴して思ったことは根拠のない感情論のように思えました。そもそも検証などできるはずがないです。数値、基準などどの人でも理解できる値がない限り無理な話です。感情論では人によって感じ方が違います。今回のこれは、誰が悪いものでもないです。では、どうすべきか、それは議会の仕事の開示をすべきでしょう。そして、基準を作ることです。誰かに頼む事もせず、自分たちで。第三者が定めた方が公正でしょうが、この場合言い方は悪いですが、自分たちで決めることにより「ずる」ができなくなるということもあります。見えないところがあるから無駄な部分があるのではないかと考える人もいます。また、議会にも様々な立場の方がいるでしょう。簡単に決められるものではないです。ですが、議題を通す、通さないに関わらず、仕事の見える化をする事は無駄ではないと私は思います。

玉川大学3年 村上 真由(第40期生)

研修レポート③ 小山 光

議会を傍聴しました。議題は市民の請願に基づく「市議会議員定数の削減要求」で、参考人招致を行いながら質疑応答などの議論が

進められました。私にとっては初めてとなるリアルな議会の場でしたが、公の会議として形式的かつシステムチックに行われている面もあれば人と人との対話という柔軟な面もあり、そのどちらが欠けても成り立たない二面性は興味深く感じられました。

しかし、議論の中身、特に参考人への質疑応答についてはいくらかの不満を感じざるを得ませんでした。というのも、もちろん市民の声が具体化したものである請願を、たとえば頭ごなしに否定するなどして深い議論もなしに軽々に結論を出してしまうのは許されることではありませんが、だからといって当たり障りを避け、請願の欠点・デメリット・前提の違いなどを指摘する議員が誰一人としていらっしゃらなかったというのは、厳しい言い方をすればそれもまたある意味での議論の放棄となってしまうように感じられるからです。一方の意見に反対しそれを叩き潰すのは正しい議論の在り方ではありませんが、より良い未来への架け橋として行われる議会においては、ある程度の衝突こそがその議論を深めるために必要なものであり、真に「市民の声と誠実に向き合う」ことに繋がるのではないかと議論を見ながら考えました。(注：村上真由さんも一緒です)



早稲田大学2年 小山 光(第40期生)

★ 吉田つとむのインタビューは1998年に開始、町田市役所のインタビュー受け入れや、中学生の職場体験に先行実施

★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。

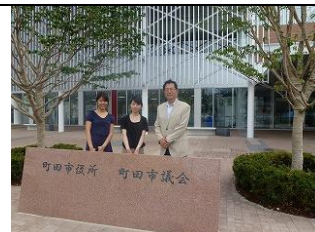
インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧の上、ご連絡ください。

町田市議会議員・納税者主権

吉田つとむ

良識ある保守主義を目指す

町田市議会
〒194-8520
東京都町田市
森野2-2-22
☎042-724-2171
保守連合会派室



市議会の傍聴・見学

研修レポート⑫-1 宇津木彩名

今回は、一般財団法人日本青年館を訪問し、町田市民ホールで公演されるクトロヴァッツコンサートの打ち合わせを行いました。日本青年館は当コンサートの企画制作を担っています。



ピアノデュオ・クトロヴァッツは世界でも成功したピアノデュオの一つです。クトロヴァッツ兄弟は兄ヨハネスと弟エドワードの血のつながった兄弟で、イタリアのストレサ国際コンクールで第1位を獲得した方々です。各国の著名なホールや音楽祭で演奏を重ね、日本でも1995年以来150回を超える公演を成功させてきました。また、彼らは日本の曲である「さくら」や「赤とんぼ」など日本の曲を集めたCDである、「Love for japan」をリリースした大の親日家입니다。

昨年(2016年)は11月に来日公演し、各地から感動の声が寄せられました。町田での公演でも大好評であったそうです。もし、来年開催するならば9月15日～30日のどこかに日程が決まるそうです。また町田市民ホールの

会場を借りるために、1年前に抽選を行ったり、お客様にコンサート開催についての情報提供など、様々な準備が必要だということを知りました。その準備があまりにも大変なため、毎年町田で開催することが難しく、隔年で開催しているということ、吉田議員から聴きました。



(相模大野グリーンホールで開催した時の写真)

きっと、以前のインターン生が1年前の予約の段階からかわり、十分な準備を行い開催された昨年のコンサートは、素晴らしいものだったのだろうと推測しています。鳥肌がたつほど魅了されたであろう、ピアノの演奏を私も生で聴いてみたいと感じました。町田市民ホールという、身近なところでプロの生演奏を聴くことができる機会は、なかなかないと思います。開催が決定された際には興味がある方は是非、会場に足を運んでみてください。

津田塾大学1年 宇津木彩名(第39期生)

.....
クトロヴァッツコンサート開催予定

平成30年9月22日(土)夕方頃

今後、実行委員会で詳細を決めます(吉田)

★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ(自宅)